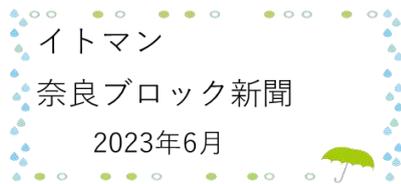


5級～1級の保護者各位



## 1級合格卒業まで あと少し！！



3泳法（クロール・背泳ぎ・平泳ぎ）習得おめでとうございます。

ここまでの道のりは長く、辛いと感じたことがあった反面、いつの間にか身体面が強くなっただけでなく、精神面も強くなったのではないのでしょうか。なかなか進級できず悔しい思いをしたり、時には辞めたくなったり、ここまで様々な経験をしてきたと思います。そんな困難を乗り越えられたのは、本人の頑張り・努力と、イトマンで出来たお友達存在、そして保護者の方々のサポートのおかげです。3種目習得しただけでも、自分に素晴らしい影響を与えたと思います。しかし、あと少し頑張ればもっとより良いものを獲得することができるのです。そこで、皆様にご紹介したいものがあります。皆さまご存知でしょうか。

イトマンスイミングスクールには、1級合格をすると卒業式がございます。あともう少し頑張った先に自分が頑張った証が形として受け取ることができます。今回、卒業式の様子をお見せしたいと思います。



～イトマン卒業式では盾・卒業認定書がもらえます～

『名前入りの盾』

『卒業認定書』

### 卒業生、保護者の声



4才ぐらいからの頃からスイミングを始めて約7年。とても長かったです。特に5級あたりからとても難しくなって、一時スイミングを辞めようと思いました。でも頑張ったら特習まで行けました。だから何事も諦めないようにしたいです。



卒業おめでとう！！この日まで色々大変だったね。進級出来なかった時もあきらめず、頑張ったこと忘れないでこれからもいろんなことにチャレンジしよう！！

〇〇（名前）なら何でも乗り越えられる。頑張って！！

### 1級合格に向けて頑張る心・諦めない心を育てる



3級までは、きれいなフォームが特に重視されていましたが、2級・1級となると綺麗な泳ぎに加え長い距離に耐えられる体力が必要となってきます。1級になると200Mという距離を立たずに綺麗に泳がなければならないので、泳ぎ終わった後には、「ほんとにつかれた」といった言葉が出てくる子が多いです。しかし長い距離に耐え、4種目きれいな泳ぎを保つことができれば合格・そして卒業式が待っているのです。ある記事を読みましたので、ご紹介したいと思います。

人間には「承認欲求」があり、それが満たされることはなによりも重要で、東大生の親は、「結果」を褒めるのではなく、子どもの「能力」を褒めていることがわかりました。例えば、絵画コンクールで優秀賞をとった場合に、「賞をとってすごいね」ではなく、「色彩感覚がすごいね」と褒めたそうです。賞をとれるかどうかは運に左右される。そうした「結果」よりも、自分自身が持っている「能力」を褒められることで、子供は自信を持ち、さらに「頑張るぞ！」といモチベーションを獲得してく。「結果」よりも、「能力」をみにつける過程を評価しているように感じるそうです。

#### ▼くり返し言ったほうがいい、魔法の『短い言葉』▼

- ①大好きだよ
- ②ありがとう
- ③へー？ そうなんだ？（その話、もっと聞きたいな）
- ④やったね！
- ⑤すごいね！
- ⑥頑張ったな！ または 頑張ってるな！
- ⑦ドンマイ！（次、いこう！）
- ⑧〇〇君・さんなら出来るぞ！
- ⑨（結果は気にせず）楽しむ！
- ⑩ナイストライ！（いい経験になったね！）